

健康な教会シリーズ：成長させてくださる神 1 コリント 3:5-9

イントロダクション： 私たちは、指先ひとつでありとあらゆる膨大な、無限に近い情報を入力できる世の中に生きている。これだけ情報の入手が自由になると、気を付けないと私たちは簡単にプライドの犠牲となってしまいます。ちょっとグーグルでサーチして誰が書いたかもわからない記述を2, 3 読んだだけで、自分には専門家 — 獣医、医者、教師、整備士、配管工、さらには牧師 — と同等の、あるいはそれ以上の知識があるのだ、というプライドに陥りがちである。必ずしも専門職を持つ者の言うことが正しいとは言えないし、グーグルサーチの情報がすべて間違いというわけではないが、私たちの思考や経験、そしてインターネット情報にも限界がある。私たちはこの情報網の中でスローダウンし、数時間調べただけの情報には限りがあることを知らなければならない。私たちはすべてにおいて専門家になれるわけではないし、確かにインターネットで容易に答えを得られることもあるが、専門家に任せるべきこともある。教会の形成、成長に関してエキスパートといえるのは神だけである。神が成長させるのでなければ健康な教会は育たない。健康な教会というのは、あくまでも神のご支配の中で、教会メンバーがリーダーの役割をしっかり把握し尊重していることが条件である。

1. アポロとは何でしょう。パウロとは何でしょう。あなたがたが信仰にはいるために用いられたしもべであって、主がおのおのに授けられたとおりのことをしたのです。私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。それで、たいせつなのは、植える者でも水を注ぐ者でもありません。成長させてくださる神なのです。(3:5-7)
 - a. ここではリーダーによる行ないではなく神がなされたことが強調されている。コリントの教会はこの二つを混同してしまっていた。彼らは神よりもリーダーに重きをおいていた。
 - b. もちろんリーダーとしての賜物がある人はいるし、神から与えられたものを使わないように、ということではない(むしろその逆である)。ただ、私たちは時として、神にしかできないこと、神の御霊を通さなければできないことをも、人間的な情報、人間的な知恵、人間的な霊に頼って処理しようとする傾向がある。
 - c. リーダーは自分にできることの限界を見極め、その範囲内で努力しなければならない。リーダーの何でもやろうとするプライド、そして会衆がリーダーに対して寄せる人間的な期待とが合わさって教会を不健康な状態にしてしまう。
2. 植える者と水を注ぐ者は、一つですが、それぞれ自分自身の働きに従って自分自身の報酬を受けるのです。私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。(3:8-9)
 - a. リーダーが神に命じられた以上のことをしようとする、あるいは他のリーダーがやっているからというプレッシャーによって何かをやろうとすると、その本当の目的を失ってしまったり、失敗してしまったりする。
 - b. リーダーがうまく建てることができないと、リーダーと、建物の一部である人々の両方に影響が出る(12-15節)。また神はよく建てることのできた者に報酬を与えられる(報酬は賜物とは別のもので、これは救いの話ではない)。リーダーと教会メンバーが一致して神のご計画を行なえば、神の裁きの日にはリーダーと教会員の両方に対して大きな報酬の日になる。
 - c. パウロは「私たちは神の畑、神の建物」という言い方をしている。建物といっても普通の建物ではなく、神殿である。私たちは神の神殿であるので、それに損害を与える者に対しては厳重な注意が与えられている(17節)。私たちは個人として、また集団として、それぞれにふさわしく生活し、健康な教会となるため神を求め成長していこうではないか。